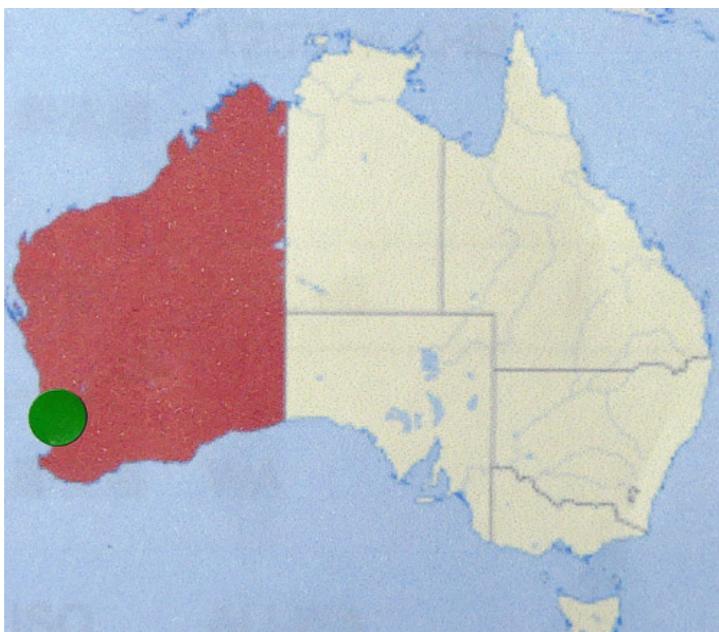


5969 **KURAKU** 久楽世界の旅：西豪州・心模様と出会いの足跡 101

.....

オーストラリア（豪州）。西オーストラリア州の州都は、**パース**（下記、緑丸）  
北半球の日本を出発。期間は、11月～12月の約1ヶ月余。

**南半球**、オーストラリアは、**夏、真っ盛り**。半端ない**暑さ**だが、日本とは、**湿度**が違った。



箇条書きに、備忘録を記録していたので、発信は、相変わらずの画像中心だが、  
メモっているので、織り交ぜて、発信させていただく予定。

西オーストラリア州は、オーストラリア本土面積の3分の1を占める一帯のこと。  
その大部分は、アウトバックと呼ばれる**乾燥地帯**。  
パースのある南西部は、肥沃な地域で、人口が集中しているとのこと。

先入観を持たず、現場で体感するのが、**久楽流**。  
今回は、危険が伴うだろうと、いろいろお聞きしていたので、覚悟。

## ～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

関西国際空港から、シンガポールへ。所要時間、6時間半。逆風だった。

時差は、1時間。シンガポールまでは、団体客で満席だった。

新婚カップルは、居眠りばかりしている。

日本の新婚さんの持ち物は、なかなかのオシャレ。私自身欲しいものがあった。

荷物は、ショルダー以外に、トランクとカメラの三脚、約35キロ。

この飛行機では、5キロの重量オーバーになる。追加料金、19,000円。

昨夜、大阪にも用事があって、南海サウスタワーに宿泊。午前8時半のラピート。

疲れていただけに、好判断だった。

シンガポール到着後、パースへの飛行機の出発時間まで、約3時間。

心の準備も必要なだけに、待ち時間も想定内で、思いの画像記録を残すことができた。

前日も、秋の行楽シーズンで、人も車も混雑。

シンガポールから、オーストラリア、パースへ。定刻通り。所要時間5時間。

英語のアナウンスが、唯一の頼りである。大体、理解できるものの、

いま少し時間が必要のように思う。英語圏。有難い。機内で、会話本の勉強に専念。

午前1時過ぎ到着。その後、無事、ホテルに到着。

第一歩が肝心。ボタンをかけ間違えると、負の連鎖になりがち。

アンバサダーホテルに、3泊とメモっている。時差はじめ、体調調整が最優先。

治安に関しては、比較的安全なようだ判断。

空港からホテルまでのタクシーでは、助手席に乗車させてもらった。

運転の仕方や、道路状況などを学ぶことが目的。

コミュニケーション。資料も持っておられたので、いただいた。

初日は、午前2時半に就寝したが、

興奮しているのか、午前6時に起床。日の出は、5時過ぎ。

晴天で明るく、8階の部屋。見晴らしがいい。じっとしてられない。飛び出した。

夏（12月～2月）平均気温、昼28度C。夜17度C。散歩後。朝食。

下記は、別の機会に画像記録したもの。前方は、パースの光景。



別の日にも、海上からの光景も、画像記録しておきたいと、  
お天気にも恵まれて、下記の画像記録。第一歩は大成功。しかし、油断はできない。  
今回は、**冒険の旅になりそう**。



たかが、ワンショットだが、**物語**がある。

どのように、ご紹介していくか、悩むひと時。趣向を変えと言っても、  
大したことはできない。猛暑やコロナ再拡大の状況下、体調を整える日々の取材外出や運動。  
徹夜することも再三。昼夜逆転することも。反省しないと、と思うものの、  
**体が動いてしまう**。いささか危険な状態だが、**動けるのは有難い**。日々格闘。

病気にならないのでなく、なれない環境と状況。日々のバランス、**DIY**に四苦八苦。  
上記のような、画像整理していると、少しは、心が安らぐ。それと、**睡眠**の大切さを痛感。  
なんとか無事に、7月をやり過ごせた。8月。厳しい戦いになりそうだが、**元気発信**。  
創意工夫してやるしか、選択肢はない。気持ちだけでも、**楽しく**やらないと、つづかない。